

令和6年9月9日

対馬市議会議長 初 村 久 藏 様

議会運営委員会
委員長 上野 洋次郎

議会運営委員会調査報告書

会議規則第106条の規定により委員派遣を要求し、承認されていた本委員会の調査について、その概要を同規則第110条の規定により報告します。

「調査概要」

- 1、期 日 令和6年7月31日（水）～8月2日（金）
- 2、調査先 平戸市議会（長崎県平戸市）
西海市議会（長崎県西海市）
- 3、調査事項 1、常任委員会の構成及び所管事務について
2、その他の議会運営について
- 4、出席委員 上野委員長、船越副委員長、小宮委員、小田委員、
陶山委員、島居委員、坂本委員
- 5、説明者 平戸市議会 : 議長、議会運営委員会委員、議会事務局
西海市議会 : 副議長、議会運営委員長、議会事務局

「調査内容」

1、平戸市議会視察について

令和6年7月31日、午後3時30分から平戸市議会を視察しました。

平戸市議会の松本議長から歓迎の挨拶をいただいた後、平戸市議会の定数削減等の経過を事務局職員より説明を受け、議会運営委員会の方々と意見交換を行いましたので、その説明内容や質疑応答の、要旨を報告いたします。

①平戸市の直近の定数削減の経過について

●平成27年12月定例会

- ・議員定数を、次の一般選挙から20人を18人に削減することを可決。

●平成29年5月29日 議会運営委員会

- ・改選後の常任委員会のあり方について審議され、議会運営委員会においては、2つの委員会とする方針を決定。

ただし、各会派に持ち帰り協議し、6月定例会最終日に議運を開き、会期中に方針を決定する。

●平成29年6月21日 議会運営委員会

- ・常任委員会の構成について、3つの常任委員会から2つの常任委員会とすることを決定。所管事務については、次回に持ち越し。

●平成29年8月28日 議会運営委員会

- ・所管事務を現行の総務委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会から総務厚生委員会、産業建設文教委員会とすることが決定。

●平成29年9月定例会

- ・改選後の議員定数削減に伴う委員会条例の一部改正を改正する条例を可決。（3常任委員会から2常任委員会）

②意見交換会の内容

（常任委員会の構成及び所管事務について）

- ・3つの委員会から2つの委員会になったことで感じるメリット、デメリットはあるかとの対馬市からの質問に対し、以下のような発言があった。

①委員会審議の時間が長くなることを危惧していたが、問題なかった。

②市の予算の約半分を勉強でき、視野が広がった。

③市民からの問いに対し、幅広く答えられようになり、議員としての資質の向上を感じる。

④デメリットは感じない。

⑤委員会構成については、平成29年5月から平成29年9月の約4カ月間で纏めた。短期に、集中して決めた方が良い。

（その他の議会運営について）

①政治倫理条例については、現段階では勉強不足の面もあり、これから審議を深める予定である。

②議会運営委員の選出方法については、3名以上の会派から1人、

6名以上の会派から2人選出しており合計6人で、委員会条例に選出方法を規定している。

③一人会派は、以前はあったが、現在、一人会派はいない。
以上のような、意見交換を行いました。

2、西海市議会視察について

翌日8月1日（木）午後2時から西海市議会を訪問しました。
朝長副議長、渡辺議会運営委員長から歓迎の挨拶の後、西海市議会の委員会条例の改正検討までの経緯を、議会事務局職員から説明を受け、副議長、議会運営委員長と意見交換を行いましたので、その説明内容や質疑応答の、要旨を報告いたします。

①委員会条例の改正検討までの経緯

- 令和4年12月 第4回定例会
 - ・議員定数及び議員報酬のあり方に関する調査を行うため、議員定数調査特別委員会を設置。
- 令和6年3月 第1回定例会
 - ・10回にわたる議論の結果、議員定数は現行から2人削減の16人、議員報酬は7万円増額の38万円とする協議結果を報告。
また、令和7年4月に執行予定の次期一般選挙から議員定数を16人とする議員定数条例の一部を改正する条例を可決。
- 令和6年6月 議会運営委員会及び全員協議会
 - ・委員会条例の改正について検討事項を確認し、第4回定例会に委員会条例の改正を提出することを決定。
また、全員協議会を開催し、議会運営委員会での協議結果を説明し、各議員の意見集約を行った。
 - ※ 議会運営委員会では、現行どおり3つの常任委員会を維持することを決定し、その事を全員協議会に諮った結果、議案の審査を十分に行うには、2つの常任委員会が良いとの意見もあり、再度、議会運営委員会で、全員協議会で出た問題点を精査し、最終的な結論を出すことに決定した。

②意見交換の内容

（常任委員会の構成及び所管事務、その他の議会運営について）

- ・西海市は、次の改選で16名となるが、議会運営委員会の中で3つの常任委員会となった経緯を伺いたい。

＊削減前の厚生常任委員会が、既に５人で委員会審査をしており、特に問題がないことから３つの常任委員会を維持することになった。

＊２つの常任委員会になると審議時間が長くなるとの話が出たが、慎重に審議がされることから問題点にはならないと考えている。

・議員発議で、定数の２人削減と７万円の報酬増額となるとお手盛り感があるが、市民からの批判はでてないか。

＊西海市は、合併以来報酬を上げていないこと、市民アンケートや特別委員会で１０回の審議を経て決定した特に批判はでていない。

・議会運営委員の選出方法は、４つの常任委員長と会派代表者会議を経て、会派から２名を選出している。

＊西海市でもそうだが、面積が広い対馬市で、議員定数を削減すると、地区の声が届きにくくなる。そこは、お互いに課題である。

＊若手議員とベテラン議員のバランスがどうなるかをある程度予測しながら、常任委員会の構成も検討された方がいい。

・議員の年齢構成をみると、若い議員が少ないが、報酬が安いからか、それとも政治に興味がないからなのか。

＊報酬が安いことよりも、６０歳くらいの世代は、地域のことを自分でやらないという思いがあるが、それより下の世代は、そういう意識が希薄と感じる。若い人に出てきて欲しいという思いは強くある。

以上のような、活発な意見交換を行いました。

３、結びとして

今回の行政視察は、常任委員会の構成及び所管事務、その他の議会運営について、早くから２つの委員会で運営している平戸市議会と対馬市より先に、２人の定数削減で議員定数を１６名とした西海市議会の委員会構成等の検討状況を、調査してまいりました。

大変参考となる資料を提供していただき、同じような状況で、協議を進めている２つの議会から貴重な意見を直接伺うことが出来ました。改選後のスムーズな議会運営と各常任委員会での十分な議案審査が出来る状況となるよう、今後、委員会条例の改正について、議会運営委員会で慎重かつ十分な審議を深めたいと考えているところでございます。

議員皆さまのご協力をお願いいたしまして、議会運営委員会の調査報告といたします。

○西海市



○平戸市

